

常任委員会 だより

私たちの任期もすでに2年を経過し、折り返し点となりました。総務、産業建設、教育民生それぞれの常任委員の任期は、条例で2年となっています。5月の臨時議会で委員会所属は、これまでの「地域単位」から「会派」の話し合いで決定されました。今定例会は、委員会構成変更後初の定例議会であり、当局、委員双方に、これまでと違った緊張感がありました。また議会運営委員会（定数7名）も構成が変わりました。運営委員長に浦山敏雄（政員会、副委員長に青柳宗五郎（創成会）、委員は安藤武、黒沢龍己（仁政ク）、真崎寿浩、大石温基（翠鸞会）高久昭二（共産党）の各議員が議会運営にあたります。

総務常任委員会



総務常任委員会の構成は小林委員長、浅利副委員長、委員は佐藤（直）、黒沢、大石、門脇（健）、青柳、佐藤（峯）と強力メンバー揃い。

本会議より当委員会に付託された案件は議案4件、陳情1件、継続審査中の陳情1件含め計6件である。

審査風景



仙北市基金条例の一部を改正する

「ふるさと納税」制度がスタートした。仙北市へのふるさと納税に対応するため、基金条例の中に「ふるさと仙北応援基金」を設けるもの。

問 見通的に何件くるのか、目標を設定しているのか。今後、いかにPRするかが重要だ。ふるさと会以外に呼びかけPRする考えはあるのか。

答 今の所、福岡の方から10,000円の寄付があり、その他2件の申し込みを受けている。できる限り多くの方から応援して頂きたいと思っている。PRはふるさと会以外に板橋区のアンテナショップや市内の観光施設の訪問者へも呼びかけを行っていききたい。

問 ふるさと納税申し込み手順を見ると難しすぎると思う。気安く寄付して頂く体制を作る事が必要と思うが。

答 県外からの寄付を頂くためには色々な課題がある。手続きのやりとり非常に時間がかかる面もある。改善を図りなが

ら、寄付し易い環境を整備していきたい。

平成20年仙北市一般会計補正予算

【歳入・平福記念美術館観覧料、600万円】

問 男鹿和雄展を開催するという事だが、歳入の600万円に対し歳出予算は900万円で300万円の持ち出しになる。地域の活性化事業という事もあるが、収支トントンになる位の見込みを付けたイベントをやるべきではないのか。

答 大仙市、北秋田市等へもPRをしていく。全庁をあげて取り組み、予算以上の入館料が入るよう努力したい。

問 実行委員会への補助金はいくらか。この歳入600万円は入場料のみか、グッズ・図録収入は見込めないのか。

答 実行委員会補助金として230万円を予算措置している。グッズ・図録販売を120万円程見込んでいる。これを差し引いての補助金だ。

【歳入・農林水産事業費県補助金△400万円】



体験交流の田植え作業をする子ども達

問 子ども農山漁村交流プロジェクトの予算であつたはず。なぜ県補助金がカットになったのか。

答 当初予算時点では補助金の交付が市を通しての予定であつたが、その後、要綱等が明確になり、交流プロジェクトを実施する協議会へ直接交付になった事によるものである。

【歳出・普通財産等監理費用・22万円】

問 旧西長野小学校グラウンドの測量費という事だが借りる契約をする時

に面積算出のため測量したはずだ。杭も打っていると思うが。

答 借主から境界をはっきりしてほしいと要望を受けて現地調査した。当時の境界杭とかはつきりしない部分もあったので、再調査してはつきりさせるための測量費である。

◎採決の結果、4議案とも全会一致で原案の通り可決された。

陳情

●名古屋高裁の「空自イラク派兵は違憲」判決を尊重し「自衛隊をイラクから直ちに撤退させる意見書」の採択について

○審査の結果、さらに調査が必要のため、継続審査と決定した。

●地積調査錯誤の修正方について（継続）

○委員の構成替えで新しい委員が多い事から現地を見なければ分からないとの事で現地調査もしたが経緯等更に調査が必要のため継続審査と決定した。